

Participant

予防歯科の本質にふれる5日間 マルメ研修2026

主催：株式会社オーラルケア
協力：マルメ大学歯学部



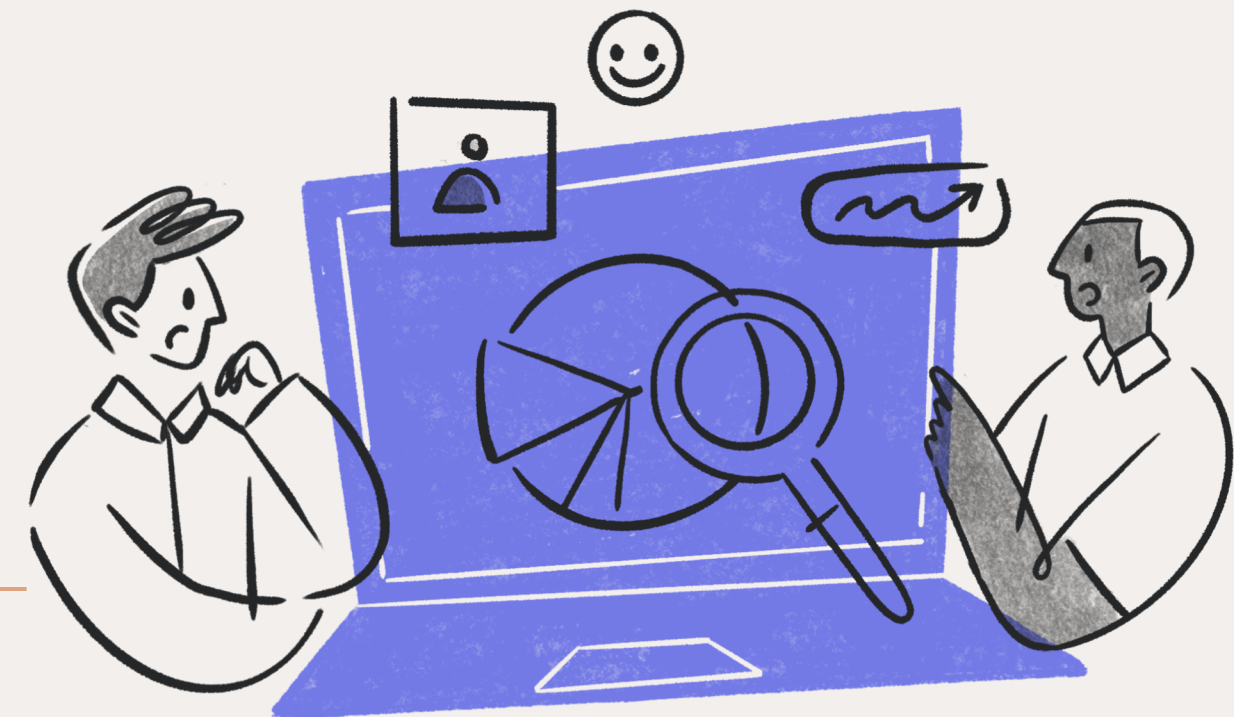
SURVEY

参加者の満足度がとても高かった！

「マルメ研修2026」が7年ぶりに開催。
マルメ大学歯学部にて行われた4日間の講義シリーズには、計59名が参加しました。

50名の参加者から寄せられたフィードバックでは、極めて高い満足度が示されています。

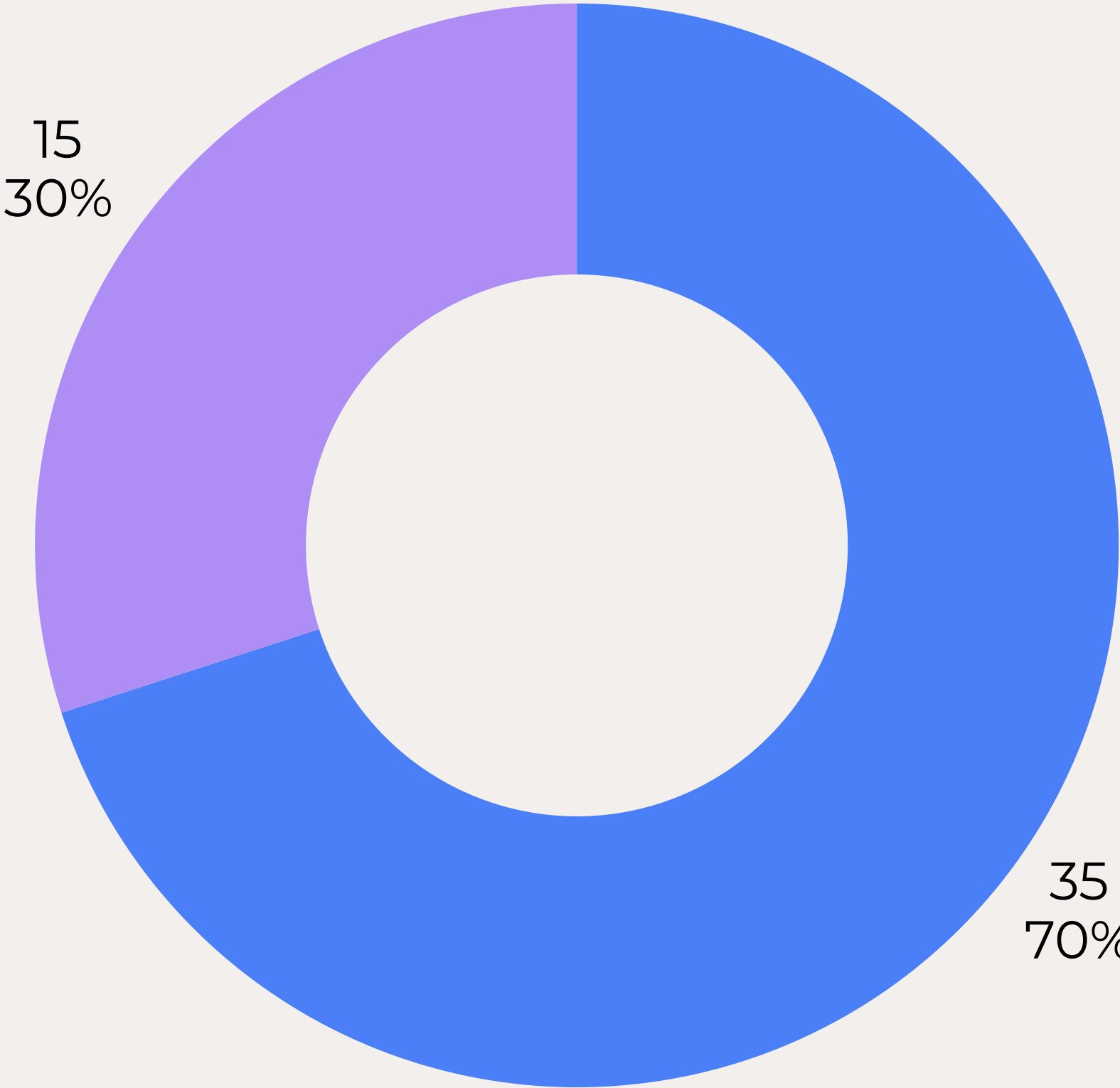
詳細については、次ページ以降をご覧ください。



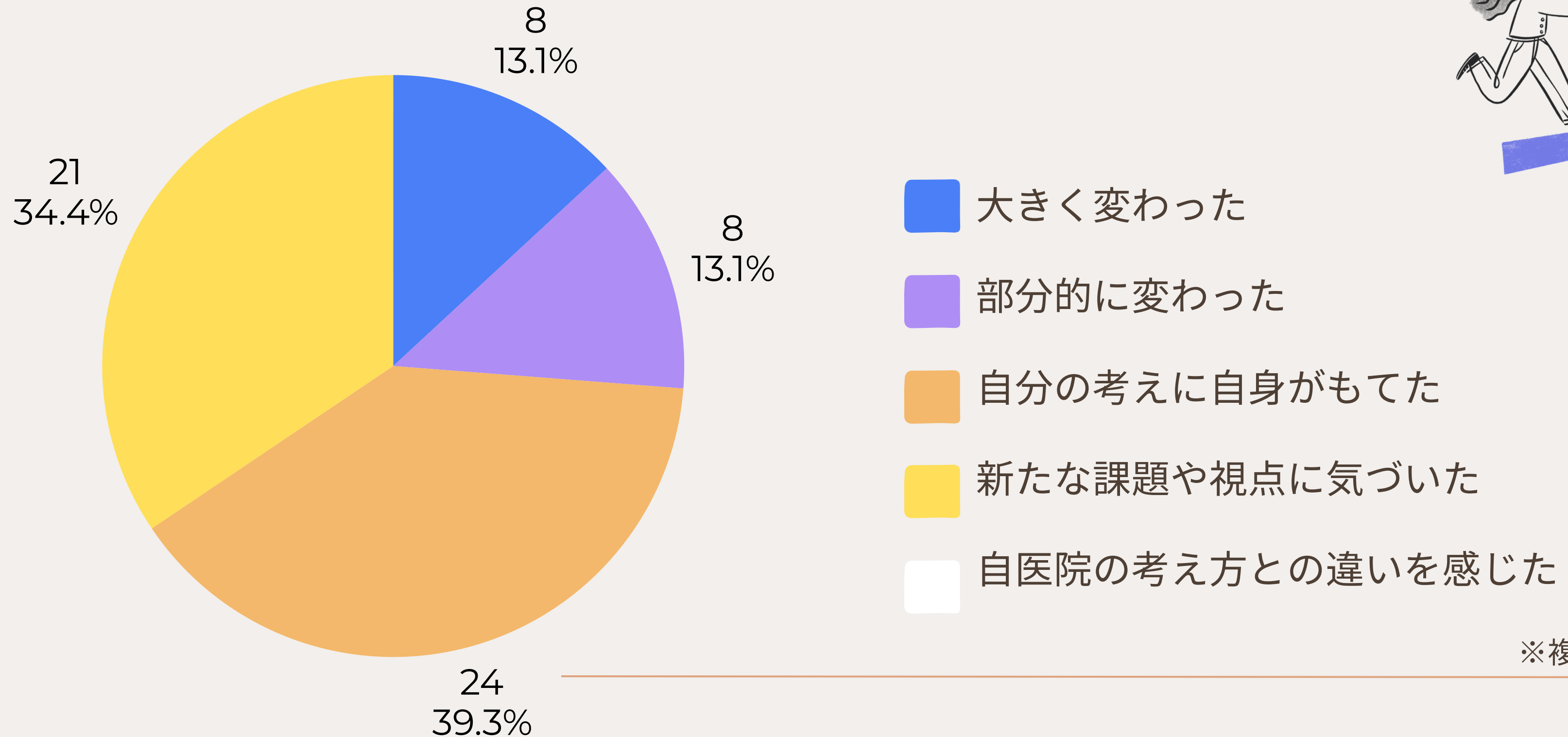
満足度



- 01 非常に満足
- 02 満足
- 03 普通
- 04 やや不満
- 05 不満



予防歯科に対する考え方の変化



※複数選択可。

なぜそのように感じたのか？

Dental Hygienist

今まで術者主体の予防しか出来ていなかったと感じました。MIの話をお聞きして、患者さんの話をもっと聞き出すコミュニケーションをとりたいなと感じました。

Dentist

ずっと自分の勘と経験で行ってきたカリエスと歯周病治療をデータに基づいた診療をしていこうと気づいた

Dental Hygienist

初めて本格的に学んでみて、今までふわっとした覚悟だったなと感じた。自分は歯と歯肉の状態という狭い視野だった。DHとしてどこまで自分にできるのだろうかを考えるきっかけになった。

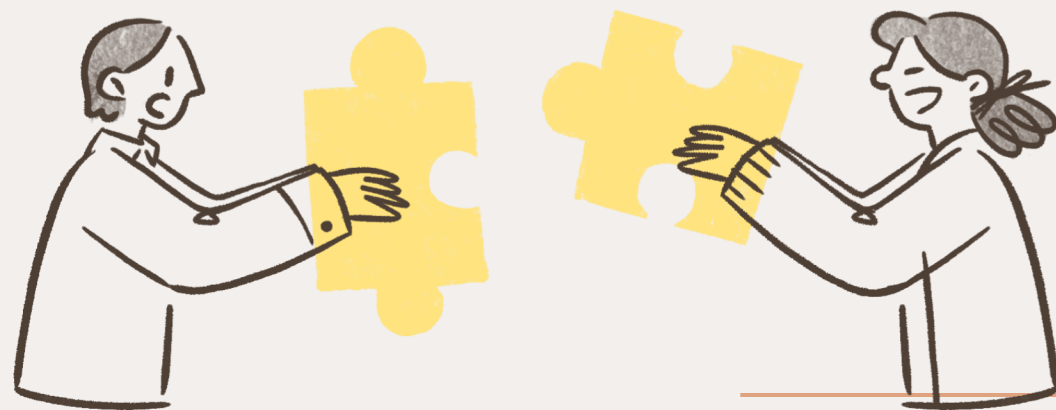


※many others

なぜそのように感じたのか？

Dental Hygienist

患者さんの歯周病を治せる臨床技術を磨いてきましたが、本当の意味で治すのは患者さんであり
気付かせる、考えさせて自己主体で取り組めるようにすることが歯科従事者として一番必要なことなんだと感じました。



Dentist

今、自分自身が仕事で意識していることを予防の先進国で聞いて、改めて予防の素晴らしさを再確認した。

Dental Hygienist

予防を歯科医療の中心に捉え、患者自身が主体的に健康管理に取り組めるよう支援する姿勢に感銘を受けた。

Analysis

興味をもったトピックス

Motivational interviewing

新3年制プログラム

Challenge based learning

う蝕予防、ナショナルガイドライン

カリエス、だ液検査

酸蝕症

食事とう蝕、フッ化物、遺伝子の役割

世界的な視点からみた歯周病



歯科医療の本質

F歯科医療における将来の傾向

Voice

なんで興味を持ちましたか？

Dentist

ワークショップがあり、実践できたことで
より診療に生かしやすい講演だった

Dentist

プローブがベストフレンド、Gut
feelingに心に響いた

Dental Hygienist

エビデンスの中にも人と人とのつながりや術者の
思いが大切にされていること、そしてDHが患
者さんと長く関わる価値が反映されていること
が印象に残りました。シンプルに嬉しかった。

※many others



Voice

なんで興味を持ちましたか？

Dental Hygienist

MIの言葉を読んでもいまいちピンと来ていなかったが、今回の講義とワークで納得が出来た

Dental Hygienist

对患者だけでなく、スタッフ間でも大切なことだと感じた。酸蝕症を今までここまでシビアに考えていなくて衝撃だった。

※many others



講義が私に与えた影響・・・

Dentist

今、提供している医療に満足することなく、患者さんの健康のためにもっと研鑽していきたいと思った。

Dentist

つつい説明ばかりの毎日でしたが改めて患者さん自身のどうなりたいかにはフォーカスしていかなばと思い至っております。

Dentist

行動変容を求めているが、まずは自分が変容しなければ他者に求めることはできないと感じた

Dentist

歯科医療について深く考える一週間になりました。

※many others



The impact the lecture had on me...

Dental Hygienist

学んでしっかり身につけたいと思えた。
明確な課題が具体化できてワクワクしてい
ます。

Dental Hygienist

予防歯科に対する考え方がより深まり、患者
さん一人一人に合わせた予防管理の大切さを
改めて実感しました。今後も学び続けたいと
いう意欲が高まりました。

※many others



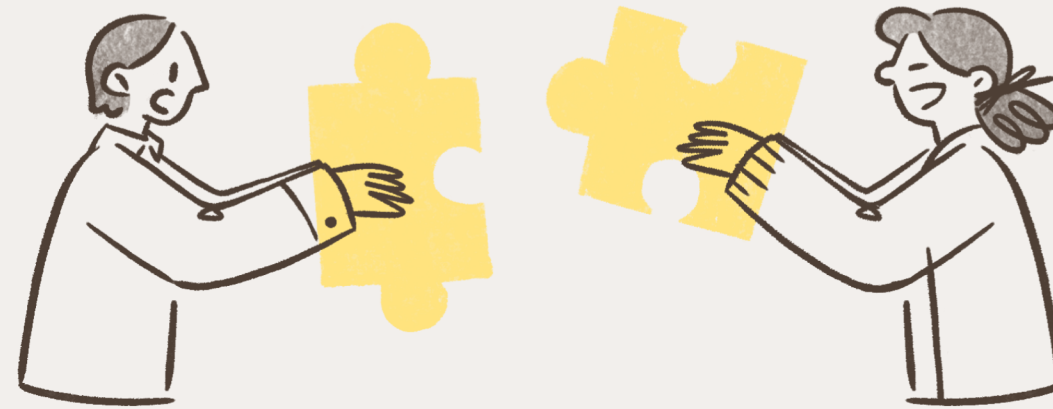
Things I want to do after returning to Japan

オープンクエスチョン
一方的に話さないこと
許可をとってから情報提供
患者中心のアプローチに重点を置く

知識を深める
歯周病分類の再確認
カリエスリスク評価の強化
食生活アンケートの見直し

学んだことの振り返り
スタッフへの情報共有





Let's Grow Together

人々の口腔の健康と充実した人生のために、
今後も交流を続けていきたいと考えています。

sekiyama@oralcare.co.jp

THANK YOU